マルイのサステナビリティ

2050年まで続く計画で未来の地球環境を守る

サステナビリティ基本方針

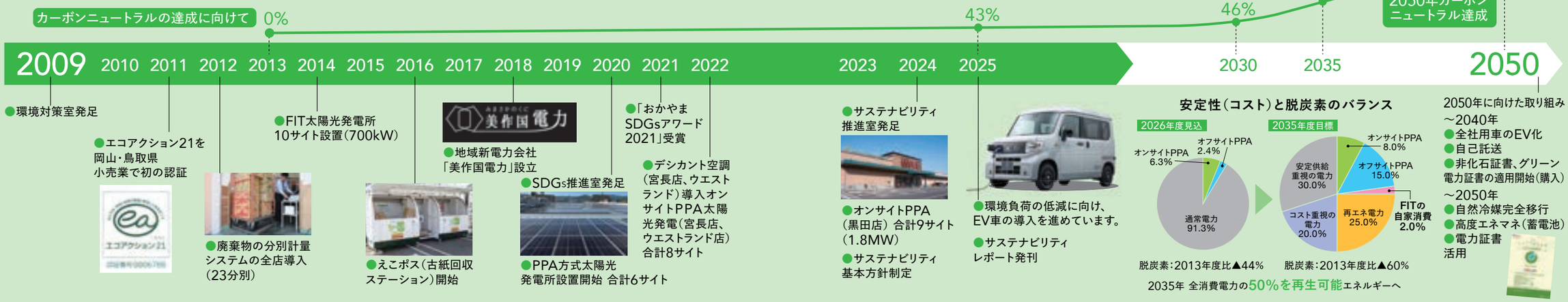
私たちマルイは、「環境保護」、「社会貢献」、「経済的持続可能性」の3つの柱に「地域社会・お客様」を加えた4つの視点を基軸に、これらの領域でバランスの取れた取り組みを継続的に実践することで、地域社会とお客様の持続的な幸せを紡ぐ存在であり続けます。

重点方針

脱炭素社会を牽引する企業として、日本政府が表明した目標値（2013年度比2030年▲46%、2035年▲60%）をフォローし達成にむけた具体的施策を実施し、毎年レポートに実績を報告します。また、2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、2035年の電力調達ポートフォリオを示します。

環境保護の推進
- エネルギー効率と再生可能エネルギー活用
- 廃棄物削減とリサイクル推進
- サプライチェーンの環境管理

◆マルイの環境への取り組みロードマップ



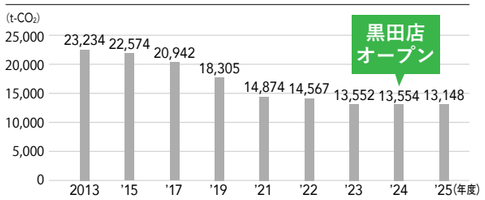
脱炭素社会を目指す取り組み実績

2025年度【実績】脱炭素:2013年度比▲43% 【目標】2030年▲46% 2035年▲60%

地域の豊かな食卓を次世代へ繋ぐため、2050年の脱炭素社会実現に全力で挑みます。

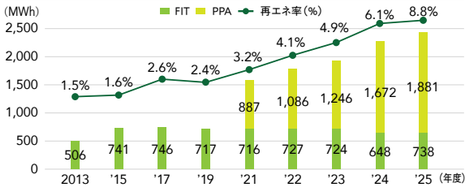
CO_2削減取り組み（scope1・2）

二酸化炭素排出量（総排出量） 2013年度→2025年度（▲%43%）



再生可能エネルギーの取り組み

再生可能エネルギー 太陽光発電状況　　再エネ率は8.8%



これまでの取り組み

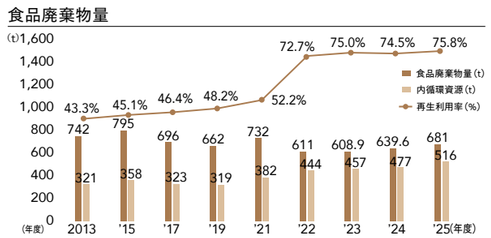
食品廃棄物をなくす取り組み実績

2025年度【実績】再生利用率:75.8% 【目標】2030年80% 2035年100%

「もったいない」を地域の力へ。食品ロスを資源に変え、持続可能な循環社会を築きます。

食品廃棄物削減・リサイクルの取り組み

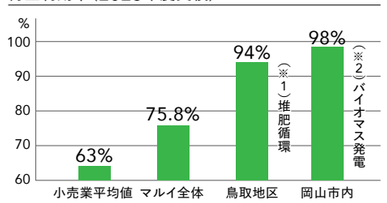
食品廃棄物量



食品廃棄物再生利用の取り組み

先行している鳥取地区（※1）、岡山市内（※2）の取組みを他のエリアに拡大します。

再生利用率（2025年度実績）



これまでの取り組み

2026年以降に計画中の次世代を見据えたさらなる取り組み

2050年カーボンニュートラル達成を見据え、戦略的に脱炭素化を進めます。

1.オフサイトPPA

美作国電力が調達したオフサイトPPAによる再エネ電力を店舗に供給

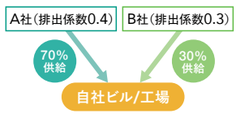
更に技術革新により、従来設置が不可能とされていた施設にも

2.電力の「分割供給」によるCO_2削減戦略

1.電力の分割供給とは

1社独占の供給ではなく、**複数の小売電気事業者を組み合わせる**高度な調達手法です。

- ベース供給（A社）：安定的な電力確保
- 付加価値供給（B社）：環境性能の向上



2.CO_2排出削減の仕組み

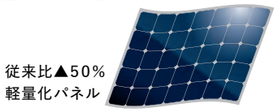
排出係数の低いB社を一部取り入れることで、施設全体の**「平均排出係数」**を引き下げます。

供給元	割合	係数
A社（既存）	70%	0.4
B社（新規）	30%	0.3

【導入効果】排出係数（kg-CO_2/KWh）
- 平均係数:0.400➡**0.370**
- CO_2排出量を**7.5%削減**

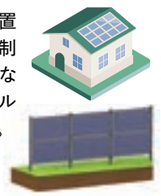
軽量パネルの導入

今まで建物の構造上の制約で設置出来なかった施設へパネル設置可能にします。



小規模PPAの検討

今まで屋根の設置面積によるコスト制約から設置出来なかった施設へパネル設置可能にします。



サスティナビリティレポート

マルイではサスティナビリティレポートを発刊しております。詳細はそちらをご確認ください。